

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

# 武蔵野市議会だより

No.381

発行日 令和2年(2020年)11月15日  
 発行 武蔵野市議会  
 東京都武蔵野市緑町2-2-28  
 TEL 0422-60-1883(直)  
 FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 ……2-3面
- 決算に対する各会派の討論 ……4面
- 一般質問 ……5-7面
- 議案等審議結果一覧 ……8面
- 陳情審議結果 ……8面

## 第三回市議会臨時会・ 第二回市議会定例会

七月二十一日、会期一日で開かれた第三回市議会臨時会では、令和二年度武蔵野市一般会計補正予算(第六回)など二件の市長提出議案が可決されました。この臨時会は、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ補正予算を審議するため開催したものです。

また、第三回定例会は九月二日から同月二十九日まで開催され、二十人の議員による一般質問が行われたほか、令和元年度武蔵野市決算の認定についてなど十一件の市長提出議案、武蔵野市議会会議規則の一部を改正する規則の議員提出議案が可決されました。

## 令和元年度決算を認定

一般会計歳入は七百十四億円、一般会計歳出は六百八十五億円

「令和元年度武蔵野市決算の認定について」と「令和元年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」の二議案は、九月十六日に設置された決算特別委員会に付託され、四日間の審査を行いました。二十四日の委員会最終日では質疑・討論終了後、

二議案とも全会一致で認定・可決すべきものと決しました(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。

九月二十九日の本会議では、二議案について、蔵野恵美子決算特別委員長が委員会での審査経過の報告を行い、各会派の代表七名と会派に属さない議

員一名の計八名が、いずれも賛成討論を行いました。討論終了後の採決の結果、二議案は全会一致で認定・可決されました。

## 一般会計補正予算等を可決 〈第三回臨時会〉 武蔵野市独自の取り組み等に対応

七月二十一日の本会議において、「令和二年度武蔵野市一般会計補正予算(第六回)」が全会一致で可決されました。

今回の補正予算は、歳入・歳出それぞれ八億六千二百三十九万六千円を追加し、総額を八百四十七億六千九百二十一万八千円とするものです。歳出の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとして、中小企業者等テナント家賃支援金の支給、商店会活性化出店支援金の支給、感染拡大防止インフラ中小企業者等支援金の支給、事業者支援「ほっとらいん」事業の実施、PCR検査体制の充実およびひとり親等世帯臨時特別給付金事業などに必要な財源措置を行うものです。

## 学習者用コンピュータ等の 買入れについてを可決

九月二十九日の本会議において、「学習者用コンピュータ等の買入れについて」が全会一致で可決されました。

内容は、国のGIGAスクール構想を活用し、市立小・中学校のすべての児童生徒および教員が使用するタブレット型パソコン、校内において通信をするためのネットワーク機器、小学校一、二年生および教員のパソコンを格納する充電保管庫の買入れを行い、児童生徒一人につき一台のパソコンを整備するものです。なお、同日の本会議では、本議案の採決に続いて「議案第八十五号学習者用コンピュータ等の買入れについてに関する付帯決議に関する動議」が提出され、賛成多数で可決されました(八面の決議欄を参照)。



## Photo Gallery



### 「秋の桜橋」

撮影：宮崎 幸二(武蔵野市)  
 場所：玉川上水 桜橋 (2019.12.3)

国木田独歩の文学碑がある玉川上水の桜橋、名前にあるとおり桜の名所ですが、紅葉も見事です。これから楽しめる季節、遠出をしなくても上水沿いの秋が楽しめます。

### 1面写真募集要領 (次回の締め切り令和3年1月8日)

- 内 容：武蔵野市内(市域が一部含まれる公園、施設等を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。  
 ※インターネット、SNS等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 2L判~A4  
 ②デジタルデータの場合  
 ・ファイル形式 JPEG形式  
 ・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上  
 ・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、令和3年2月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 著 作 権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：令和3年1月8日(金曜日)当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください(本名以外での掲載を希望する場合、上記に加え、ペンネーム(ふりがな)を明記してください)。  
 作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります。
- 宛 先：〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局市議会だより担当  
 デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで  
 (上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)



# 概要

令和元年度予算は、「誰もが住み続けられるまちへ 命を守り育む予算」として編成されました。令和元年度一般会計および4特別会計の歳入決算総額は1,021億9,328万円、歳出決算総額は988億4,630万円で、33億4,699万円が令和2年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入および支出(消費税等控除後)は、収入36億6,127万円、支出35億1,404万円で、差し引き1億4,724万円の純利益となりました。

普通会計で見る財政力指数は、単年度は1.518で、前年度に比べ0.002ポイント低下し、3年間の平均は1.515で、前年度に比べ0.007ポイント低下しました。公債費負担比率は3.4%で、前年度に比べ0.4ポイント低下しました。経常収支比率は84.3%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇しました。東京都26市の平均を見ると、財政力指数(3年間平均)は0.976、公債費負担比率は8.0%、経常収支比率は93.7%となっており、各市との比較では、いずれも極めて良好な数値を保っています。

以下は決算特別委員会における審査の概要です。

## 総括

### 市役所での障害者雇用率の現状は

**問** 市役所の障害者雇用率の現状は。  
**答** 法定雇用率は二・五%で、令和二年六月一日現在で二・六二%となりクリアした。今年度、障害者枠で正規職員を含めた九名を採用したことが改善の理由である。

**問** 令和元年度の総括と、特に配慮したことは何か、市長に伺う。  
**答** 年度後半にコロナ対策という新たな課題が発生し、市の権限に限界がある中、都と連携しさまざまな対策を行った。また、令和二年度からの第六期長期計画は、さまざまな分野で議論を行い、多くの意見を得ながら策定することができた。「子ども・子育てを応援する」、「困難を抱えた方を支える」、「すべての世代が住み続けられる」などを指し、限られた財源の効果的な活用を心がけた。

**問** 不用額に対し、監査委員の審査意見書に「早めの執行見込みによって補正減が可能な費目もある」とあるが、  
**答** 最終補正予算の際に、年度末の工事などの見込みをさらに精査すれば、不用額の発生が抑えられ、その分を基金に積み立てることができ、一割程度の減額を目安に努力したい。

**問** 保育園の待機児童ゼロを達成したことについて、市長の考えは。  
**答** 実現できたことはすべての関係者に感謝している。だが、本来は当たり前前のことであり、待機児童という言葉がなくなるよう努力したい。

**問** ラグビーワールドカップの地域経済などへの影響に関する評価は。  
**答** 選手のキャンプ地としての取り組み、地域商店との連携、都市装飾、パブリックビューイング等を実施した。「するスポーツ」、「観るスポーツ」として、よりスポーツに触れ合う機会になったと考える。

## 歳入

### 地域自殺対策緊急強化交付金の用途について伺う。

**問** 地域自殺対策緊急強化交付金の用途について伺う。

### 審査した特別委員

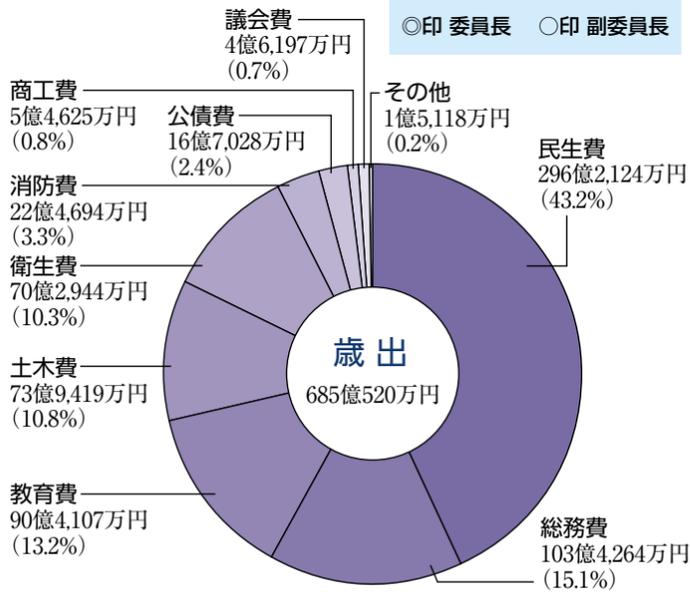
令和元年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎ 蔵野恵美子 ○ 道場ひでのり
- 堀内まさし ○ 品川 春美
- 本多 夏帆 ○ 木崎 剛
- 浜田けい子 ○ 山本あつし
- 藪原 太郎 ○ 本間まさよ
- ◎ 印 委員長 ○ 印 副委員長



蔵野恵美子 決算特別委員長

人口1人当たり 464,382円  
 1世帯当たり 880,801円



**問** ゲートキーパー養成研修、市民こころの健康支援事業費に充てる。  
**答** 監査委員の審査意見書には、市税の徴収等について、「職員のスキル向上に継続的に取り組み、徴収率の更なる向上に努められたい」とあるが、具体的な取り組みを伺う。  
**答** 都への派遣研修の成果やエキスパート職員の知見などを職員間で共有する。自動音声での電話催告や催告書の工夫等さまざまな取り組みたい。

**問** 入札における市内業者の割合が低下する傾向だが選定方法を伺う。  
**答** 金額の大きなものは指名業者選定委員会で決定する。競争入札参加資格の有無や、本市や他自治体での類似案件の実績等を踏まえている。

**問** 各種証明書のコンビニ交付は一件当たり二千四百円の固定費がかかるが、費用対効果をどう考えるか。  
**答** 全国で取得が可能で早朝や深夜も対応しており、窓口混雑の緩和効果がある。件数は増加傾向で一件当たりの経費は今後低下すると考える。

**問** RPA導入で業務が効率化すれば、操作手順であるシナリオ作りが求められるがスキルアップの方法は。  
**答** 職員によるシナリオ作りは難易度が高く現在は外部に委託しているが、職員も共に作成に携わっている。

## 総務費

**問** 武蔵境駅北口のQuoLaは、歯科医院が入るなどにぎわいの創出ができていないと考える。三年が経過した現時点で検証すべきでは。  
**答** 二つの目的のうち、市政センターの移転は達成した。歯科医院も地域医療に寄与するもので、施設全体では一定程度目的を達成している。

**問** 自衛総合対策計画は多くの部署が複雑に関連し、庁内外の連携が大切だと考えるが、連携会議の実績は。  
**答** 健康福祉部をはじめ庁内各課から成る「こころの健康づくり庁内連携会議」で計画を共有するほか、民間事業者との会議でも周知している。

**問** 子ども・子育て応援券の配付とゆりかごむさしの面接の当初目標は達せられたのか、実績と評価を伺う。  
**答** 面接率を九割とする目標は達成したと考える。今後は面接できていない妊婦へのアプローチを工夫する。

**問** 産後ケア事業の課題と展望は。  
**答** 日帰り型の利用率が高く、キャンセル待ちが発生している。今後は日帰り型を拡充するほか、宿泊型も利用しやすい体制を整えていく。

**問** ミカレットみたかは市民からの陳情により即座に予算化され全面改修が行われたが、ミカレットさかいみなみの改修検討状況を伺う。  
**答** ミカレットさかいみなみは都市計画道路上に位置するため、別の場所に移設して改修する見込みである。

## 民生費

### 感染症による福祉サービスへの影響とその実態は

**問** 感染症による、介護保険や障害福祉でのサービス給付への影響を伺う。また実態は把握できているのか。  
**答** 電話での状況確認で報酬算定ができる等の代替サービスが認められ給付実績への影響は少なかった。今後調査等で実態を把握し検証したい。

**問** 零歳から四歳までの人口は、人口推計よりも少なくなっているが、保育施設は供給過多ではないのか。  
**答** 保育施設の申し込み件数は増加しており、ニーズは減っていない。希望する保育施設に入所できる施策を推進し、必要な整備を行っていく。

**問** 各種証明書のコンビニ交付は一件当たり二千四百円の固定費がかかるが、費用対効果をどう考えるか。  
**答** 全国で取得が可能で早朝や深夜も対応しており、窓口混雑の緩和効果がある。件数は増加傾向で一件当たりの経費は今後低下すると考える。

**問** RPA導入で業務が効率化すれば、操作手順であるシナリオ作りが求められるがスキルアップの方法は。  
**答** 職員によるシナリオ作りは難易度が高く現在は外部に委託しているが、職員も共に作成に携わっている。

## 衛生費

### クリーンセンターは適切に管理運営をされているのか

**問** クリーンセンターの管理運営は適切に行われているのか。また、その判断根拠を伺う。  
**答** 事業者に対し四半期に一度モニタリング調査を行っており、適切に運営されている。事業者の貸借対照表等に照らし、経営状況も問題ない。

**問** 効率的なエネルギー活用推進助成事業について、蓄電池システムや窓断熱改修費用への助成が著しく増えているが、この要因を伺う。  
**答** 法改正によって、住宅設備の環境性能について建築士による説明が義務化され、省エネ機器等が市民に広く浸透した結果だと認識している。

**問** 産後ケア事業の課題と展望は。  
**答** 日帰り型の利用率が高く、キャンセル待ちが発生している。今後は日帰り型を拡充するほか、宿泊型も利用しやすい体制を整えていく。

**問** ミカレットみたかは市民からの陳情により即座に予算化され全面改修が行われたが、ミカレットさかいみなみの改修検討状況を伺う。  
**答** ミカレットさかいみなみは都市計画道路上に位置するため、別の場所に移設して改修する見込みである。

**問** 子ども・子育て応援券の配付とゆりかごむさしの面接の当初目標は達せられたのか、実績と評価を伺う。  
**答** 面接率を九割とする目標は達成したと考える。今後は面接できていない妊婦へのアプローチを工夫する。

**問** 産後ケア事業の課題と展望は。  
**答** 日帰り型の利用率が高く、キャンセル待ちが発生している。今後は日帰り型を拡充するほか、宿泊型も利用しやすい体制を整えていく。

## 農業費・商工費

### 農業が持つ多面性を生かしていくべき

**問** 農地貸借での体験農業で新しいつながりが生まれたことを評価する。農地貸借で農業が持つ多面性を生かすべきと考えるが、現状や見解は。

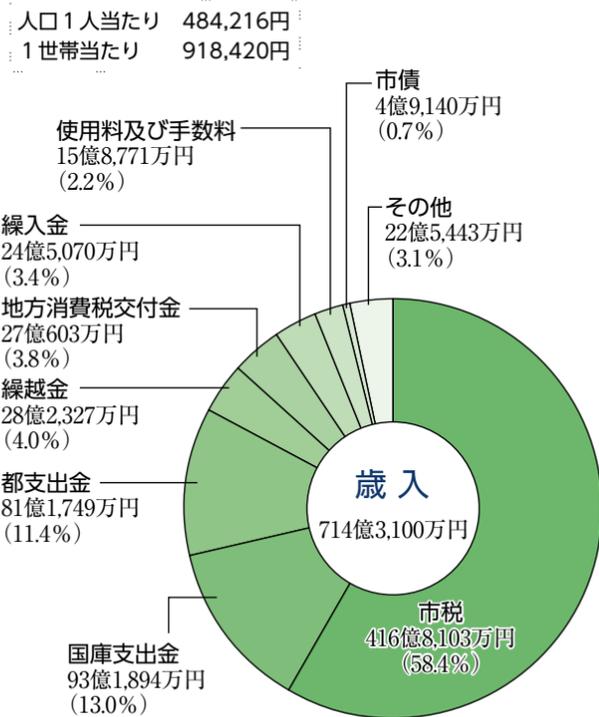


決算特別委員会の審査風景

# 決算特別委員会 審査

※令和元年度(平成31年4月から令和2年3月まで)  
決算の審査内容を掲載しています。

## 一般会計歳入決算の内訳 および歳出決算の目的別内訳



**問** 民間住宅耐震化の状況を伺う。また、目標とする耐震化率の達成に向けてどのように取り組むのか。

**答** 耐震化率は令和元年度末時点で九十二%である。耐震化率向上には集合住宅の耐震化を進める必要がある。

### 民間住宅の耐震化率向上 へ向けた取り組みは

#### 土木費

**問** ささまざまな事業相談があると思うが、事業を畳まなくてはならない状況下で、事業者の生活を含めた横断的に相談できる体制を整えるべきと考えるが、実態と見解を伺う。

**答** 事業者支援「ほっとらいん」を開設し、問い合わせをいただいている。国や都の融資制度の紹介だけでなく、こころの相談支援事業や生活困窮の総合窓口につなげることで、市民の命を守ると同時に、経済の活性化につながると考えている。

**問** 防災情報システムの更新は、どのような課題の解決を目指すのか。

**答** 防災情報システムの更新は、より迅速な対応を行うのが目的であり、現状ではこのまま運用したい。

### 防災情報システム 更新の目的は

#### 消防費

**問** LINEによる道路通報システムの通報者に個別返信をすべきでは、道路の不具合を気軽に通報してもらい迅速な対応を行うのが目的であり、現状ではこのまま運用したい。

**問** 小・中学校の少人数学級導入の推進を

**答** 小・中学校の少人数学級導入を今後推進する方針でよい。また、建て替え予定の第一中学校、第五中学校は少人数学級に対応できるのか。

**答** 適正な学級規模に関し課題はあるが、東京都教育委員会には少人数学級を継続して要望している。新校舎には可変性のあるスケルトンインフィルを採用し対応可能としたい。

### 小・中学校の少人数学級 導入の推進を

#### 教育費

**問** コロナ禍で不登校になった児童生徒はいるか。また不登校の人数が都の平均より多いことにつき見解は。

**答** 十名ほど登校できていないと聞いている。不登校は複合的に問題が絡み合っており原因の特定は難しい。

**問** 中学校の部活動の在り方検討について、市立中学校に二名の部活動指導員をモデル配置したことによる成果と、今後の方針について伺う。

**答** 管理顧問の先生の負担軽減につながっており、今後も指導員の増員を検討していきたいと考えている。

### 特別会計

#### 介護保険制度の持続可能性に関する対策は

**問** 介護保険料の増額改定が続き、制度自体がやがて行き詰まるのではと考えるが、国への要望等の対策は。

**答** 施設入所者が増加すると、保険給付費が増加し保険料が上昇するため、看護小規模多機能型居宅介護の拡充など、在宅介護を支援する施策を推進したい。現場の第一線の被保険者として、制度改正に関する国への意見具申はこれまで同様に行う。

**問** 配水管網整備推進事業により配水管路の耐震化が進んでいるが、最終的に耐震化はいつ完了するのか。

**答** 拡幅事業を予定している都道の地下部分はその際に耐震化する。それ以外は他の埋設管の更新に合わせて行うが、水道管単独での工事も検討し可能な箇所から耐震化していく。

### 水道事業会計

#### 配水管の耐震化完了 時期を問う

**問** 審査に付された各会計の歳入歳出決算書および付属書類は、法令に適合して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、正確であるものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は、法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿および証書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

困難な時代の中で、子ども子育てを応援し、誰もが住み続けられるまちづくりに向け、歳入の確保にこれまでも増して取り組むとともに、市民のニーズに的確に対応しながら健全で安定した市政運営に尽力されるよう要望する。

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に適合し、かつ、正確であることを確認した。また、決算諸表は、水道事業の経営成績および財政状態を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 名古屋友幸  
落合 勝利

### 監査意見書

#### 水道事業会計、四特別会計

# 決算に対する 各会派の討論

9月29日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない山本ひとみ議員の賛成討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。

決算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会中継または会議録でご覧いただけます。会議録は11月下旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナーまたは市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

①令和元年度武蔵野市決算の認定について

②令和元年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

## 立憲民主ネット

誰もが住み続けられるまちの実現に向け、子どもたちをはじめ、さまざまな方に寄り添った市政を



藪原太郎 議員

①②賛成

「誰もが住み続けられるまちへ 命を守り育む予算」とされた令和元年度の決算を審査した。年度末は未知のウイルスが市民生活を脅かし、まさに「命を守る」ことが問われた。「自助」が目指されるが、自分では努力できない場合もある。共助、公助を共に充実させる政策展開を求める。衛生費では、健康づくり普及活動の認知度に課題があると指摘した。SNSの運用等を研究し、改善を求める。商工費では補助金の使途について指摘した。補助金全

般に言えるが、たとえ制度上問題がなくとも、気を引き締め厳しい目で見ることを要望する。教育費では小・中学校のコロナ対応について、休校による心身の変化や、虐待の問題、授業時間の減に対する補完など、子どもたちに寄り添った対応を求める。細かな課題はあるものの、想定外の対応の中、おおむね適正に執行され、特に待機児童ゼロの達成を高く評価する。誰もが住み続けられるまちの実現に向け、力強く進んでいくことを要望し、賛成する。

## ワクワクはたらく

横断的な相談体制の充実や全庁での連携体制の強化で  
本市のさまざまな課題の解決を



本多夏帆 議員

①②賛成

会派として横断的な相談体制の充実、全庁での連携体制の強化を主に要望し、財政については中長期的な視点を重視した質疑を行った。具体的には、リスクマネジメントや将来の財政状況を踏まえての事業の必要性の丁寧な発信や、市民との充実したコミュニケーションが必要となる。市役所は最後のとりでであり、命を守るとはどういうことかを一人一人が考え、困っている方に寄り添う対応や広報広聴の充実を求める。「自殺総合対策計画」を連日取り上げ

たが、10代から30代までの、また産後の女性の死因の第1位は自殺である。感染症の影響も問題視されており課題は山積みだが、想像力を持ち、当事者からの生の声を大切にして業務に当たってほしい。コロナ禍により市職員も例年に比べて激務だと思うが、チームで働くことの意義が高まる状況であり、力を合わせて事業を進めるよう求める。組織内外のコミュニケーションの充実が本市のさまざまな課題の解決や市民のよりよい暮らしに寄与すると考える。

## 市議会公明党

市民の安心と信頼に応える、  
適時適切な決断による市政運営を



浜田けい子 議員

①②賛成

新規事業などの執行率をはじめ、コロナ禍での影響をどう受け止め、持続可能な市政運営にどう取り組んでいくのかという観点で審査に臨んだ。歳入・歳出とも増加し、財政力は例年どおり高い数値と評価され良好だと考える。健康福祉分野では、成年後見制度利用推進基本計画の策定やエンディング支援事業など新規事業への取り組みを評価する。また、障害者や家族が孤立しないよう相談機能の強化を求める。子ども・教育分野では、保育施設での使

用済み紙おむつの回収や子ども・子育て応援券事業などを評価する。今後は多様な保育ニーズへの対応を含む子育ての環境整備を要望する。文化・市民生活分野ではマイ・タイムラインの活用や液体ミルクの備蓄検討等の防災対策を、緑・環境分野では気候変動に対し危機感を持った環境負荷低減施策の推進をそれぞれ求める。新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に、市民の安心と信頼に応える適時適切な決断による市政運営を期待し、賛成する。

## 改革武蔵野・都民ファースト

行政手続きの電子化に向け、時代の流れに沿うよう積極的な取り組みを



品川春美 議員

①②賛成

決算にあたり15の財政援助出資団体との連結決算資料がそろわなかったことについて、市のガバナンスのせい弱性を指摘し、資料が間に合わない理由として示された2交代制勤務の検証を強く求める。柔軟な働き方に関し、モバイルワークの導入やRPAなどICTの活用を評価するが、庁内ネットワークへのアクセスやセキュリティの課題解決に向けた努力を求める。総務費では、安価な交付サービスが可能となる各種証明書のオンライン申請システ

ム導入を要望する。土木費では、LINEを使用した道路通報システムにより補修がスムーズになったことを評価し、デジタル技術による新しい市民参加の形になるよう、より丁寧な対応を求める。行政手続きの電子化に向けては、全体を把握し数値目標を掲げた計画を作成するなど、進め方の見直しを求める。コロナ禍によりデジタル化が急務であることが改めて示されており、本市でも積極的に取り組むよう要望し、賛成とする。

## 自治と共生

人々の地域社会における生活全体を  
きちんと見た政策を



山本あつし 議員

①②賛成

生活困窮者自立支援は、コロナ対策としても大切である。一度横断的に見直して、次につなげてほしい。商店街については、個々の商店ではなく全体として捉え、これまでの創業支援のネットワーク、実績などを生かして支援を進めるよう求める。麦わら帽子の経営の好転を評価する。高齢者支援、障害者支援について、コロナ対策としての通所系の代替サービスは本来のものと大きな違いがある。実態を把握し、影響を検証すべきである。財政が堅調

なのは、長年の行財政改革の結果である。最近、行政手続きのデジタル化の議論があるが、諸費用は国から出ても、維持経費は自治体の大きな負担となる。費用対効果を考えながら行うよう強く求める。自治体のやるべきことは、自助、共助、公助を貫いて、社会関係資本を豊かにし、社会から排除される人が出ないように、全体としてきちんとやっていくことであって、各分野の問題は、それを組み立てる要素だと捉えていくようお願いし、賛成とする。

## 日本共産党武蔵野市議団

待機児童ゼロの実現を評価、コロナ禍での  
さらなる市民の命と暮らしを守る施策を求める



本間まさよ 議員

①②賛成

2019年度は予算編成時には想定しえなかった新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が求められた。学校整備、福祉、まちづくりなどの策定済みの計画も見直しが必要と考える。市民の命と暮らし、経済を守る支援に取り組むことを求める。昨年度は認可保育園の増設などにより、待機児童がゼロとなった。長年の市民要望であり高く評価する。引き続き、保育の質を高めるため、園庭のない保育所や保育士の待遇改善を求める。すべての市立小・中学

校の体育館にエアコンが設置された。またミカレットみたかのバリアフリー化や閉鎖型喫煙所設置は陳情が採択されたことに伴い、いち早く補正予算が組まれた。市民の要望が早い時期に実現することは、行政に対する市民の信頼につながり評価する。さらに、市として行ってきた恒久平和への取り組み、ジェンダー平等の取り組みも大事と考える。今後の感染症対策として、福祉、介護、保育施設などで働く人たちのPCR検査の拡充等を求め賛成をする。

## 自由民主・市民クラブ

市長は市政運営へのさまざまな指摘を真摯に受け止め、  
限られた財源を公平・公正に活用せよ



木崎剛 議員

①②賛成

当初予算への反対理由であった項目のうち、障害者の法定雇用率が早期に達成され、国際オルガンコンクールの実施に向けた検討を行った点などは、改善点であり評価する。一方で供給過多による保育園の定員割れに対しては需要の再精査が必要であり、むさしのエコレポート事業は全庁的な議論や市民参加が不十分で、デザイン委託等の契約でも透明性に問題を残した。武蔵境駅北口市有地有効活用事業QuOLaにおいても、これまでの運営等の

検証を強く求める。その他にも、学校施設整備基本計画と財産に関する調査とで学校敷地面積に大きな差異がある点は実測調査を求めるほか、クリーンセンターの火災発生時や日常での安全管理方法の問題点も、至急確認し改めるべきである。全体として、公務の優先度等を含め市長の考え方に問題があり、市政運営上のガバナンスの緩みや監査意見書での指摘につながった。議論を真摯に受け止め、限られた財源の公平・公正な活用を要望し、賛成する。

# 一般質問

第3回定例会では9月2日、3日、4日に20名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月27日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

## 感染症対策や時代の変化を経て、商店街の在り方や今後のまちづくりについて問う



山本あつし 議員

- 問** まちにとって、市民にとって、自治体にとって「商店街」の意味とは。個々の商店と商店街の質的な差異を踏まえて伺う。
- 答** 商店街はまちの個性となる。商店街と個店、それぞれが市民生活を支え、にぎわいを創出し、まちの魅力を醸成している。
- 問** まちづくりでは、緑、公園、公共空間の在り方、土地利用の在り方など、総合的見地からの配慮が必要と考えるが、見解は。
- 答** 公園緑地の整備等により、ゆとりあるまち並みの創出や良好な都市景観形成に努めてきた。次期調整計画にも生かしていく。
- 問** 感染症対策の諸事業の経験は、市政の長期展望、まちづくりに結び付け、十分に生かされるべきと考えるが、見解は。
- 答** 実施した事業の蓄積から、人々の生活実態やまちの状況を分析し、今後のまちづくりや中長期的な市政運営に生かしていく。

## 郷土の文化と自然環境を残し、歴史あるまちにふさわしい品格あるまち並みを



深沢達也 議員

- 問** 4月に改定された吉祥寺グランドデザインは、あくまでもまちづくりの基本コンセプトと捉えているが、市長の考えは。
- 答** まちづくりに関わるそれぞれの主体が役割を果たし、目標を達成するためのビジョンが表現されたコンセプトブックである。
- 問** 吉祥寺駅南口駅前広場事業の進捗状況は。
- 答** 用地取得の事業進捗率は61.04%であり、現在も事業予定地の権利者との折衝を継続している。
- 問** 都市計画マスタープランの建物の高さ制限の方針に賛成である。改定作業において、どのように議論を進めていくのか。
- 答** 段階的な用途地域の配置を行うことで環境を保全してきた。今後もまちの活力を維持向上させ、持続可能な都市を実現するため、基本的には現在の絶対高さ制限を維持するつもりである。

## 来年度予算は、基金を活用し、税の減免を社会的連帯感の生かされるまちへ



山本ひとみ 議員

- 問** 来年度予算編成では約469億円の基金を積極的に活用しては。
- 答** 今年度以上に基金の活用を図る必要があると認識している。
- 問** 消費税の10%への増税やオリンピックの延期につき見解は。
- 答** 引き上げは持続可能な社会保障のため必要である。オリンピック実施の有無は予断を許さず、実施にも十分な配慮が必要だ。
- 問** 障がい者支援に関し医療と福祉の連携は重要である。入院時情報連携シートには身障手帳については等級などの項目があるが、身体障がい以外の障がいがある市民にはどう対応するのか。
- 答** 特記事項欄に詳細を記入し、シートを活用していただきたい。
- 問** 障がい者やその保護者が新型コロナウイルス感染症にり患した場合に市はどう対応するのか、明らかにすることが必要では。
- 答** 保健所に相談のうえ指示を仰ぎ、要請等に基づき対応する。

## 市長の市政に対する姿勢について、市長としての資質、本質を問う



道場ひでのり 議員

- 問** 前回定例会では重大案件の質疑を通して市長としての資質・本質を問うたが、真剣に向き合うべき事案からなぜ逃れるのか。
- 答** 私や市を主体とし同様の事件を二度と起こさないとは答えられないが、命を守るための市政運営をする気持ちに変化はない。
- 問** 3年というICT教育の検証期間の、決定過程と根拠を伺う。
- 答** 教育委員会で協議し機器活用の基本的な考え方を決定した。活用方法や指導方法を試行し、3年をめどに指針を確立したい。
- 問** 市立中学校の修学旅行の一斉中止決定は、第一中学校等実施時期変更を検討した学校や、生徒の心情への配慮に欠け、教育委員会の強権発動であり学校自治と矛盾すると考えるが見解は。
- 答** 危機管理上教育委員会が最終的に判断すべきと考え、多様な教育機会の確保と感染症対策の両立の中で判断した結果である。

## 市民の生命を守り抜く、自治体の知恵と力と工夫について



深田貴美子 議員

- 問** 感染症対策目的の日本版スマートシティは個人情報保護・政府介入のない分散型情報管理のモデルだが、本市の対応を問う。
- 答** 本市では、環境とエネルギー分野として位置づけている。
- 問** 長期計画の上位計画に当たる「国土強靱化計画」を策定すると経営会議議事録にある。議会に報告が無いが副市長は説明を。
- 答** 事前通告が無いので、お答えをいたしかねる。
- 問** 富山市は、介護施設でのクラスター発生の際に介護事業者協議会と連携し、医師派遣・物資支援も行った。所見を問う。
- 答** 答弁無し。
- 問** メリノール女子修道会土地取得代金6億3,915万円は、開示請求した経営会議議事録では黒塗りだ。契約日と契約主体は。
- 答** 令和2年1月30日、武蔵野市土地開発公社が契約締結した。

## 市民目線、市民感覚、現場主義を大切にした市政運営を



堀内まさし 議員

- 問** コロナ禍における、既存事業、新規事業に対する考え方は。
- 答** 新規事業は原則、第六期長期計画に掲げられた事業のみとし、併せて新型コロナウイルス感染症対策に対応しながら、限られた財源を重点的かつ効率的に配分していく。
- 問** 国の特別定額給付金の対象とならない新生児への対応は。
- 答** 基準日以後に出生したお子様への給付は考えていない。
- 問** 英語等の授業用に教員・児童生徒へ透明マスクを配付しては。
- 答** 学校で先生方が議論したうえで必要なものを購入するが、マウスシールドの購入は、希望どおりであると認識している。
- 問** 不妊治療支援として費用の負担軽減が効果的と考えるが、支援の拡充についての検討と見解を伺う。
- 答** 不妊治療の費用の負担軽減については意見として承りたい。

# 一般質問

## 激動の日々の中でも大切な「日常」を守るには



本多夏帆 議員

- 問 感染症の影響下で人々の生活が変化する中で、交通安全対策に力を入れ啓発活動を未就学児にも広げるよう求めるが見解は。
- 答 警察と市で啓発ピラを作成し全校児童に配布した。交通安全は全市民の重要課題であるため、啓発方法を検討したい。
- 問 感染症の影響下で、事業者本当に必要な支援は何なのか、事業者と行政が議論できる場を設けていただきたいがいかがか。
- 答 事業者支援「ほっとらいん」に事業者の生の声が寄せられている。支援の在り方につきしっかりご意見を伺い取り組みたい。
- 問 選挙に関するアンケートで若い世代から広報にSNSの活用を求める意見があり、拡充を検討していただきたいがいかがか。
- 答 今回の都知事選挙では、市内の10代の投票率は全世代の平均よりも高く意識は高いため、SNSの活用も研究を進めたい。

## ウィズコロナ時代の教育と今後の市民生活に新しい視点からの施策を



宮代一利 議員

- 問 教育におけるICT機器の活用について、試行内容を伺う。
- 答 来年度の新学期に全校で1人1台タブレット型パソコンを整備したうえで、指導内容や教職員の研修等について指針を定めるため、授業での適切かつ効果的な指導方法などを研究する。
- 問 従来の情報モラル教育から一歩進んだ教育とは何か伺う。
- 答 ICT機器の利用をルールで制限する従来の考え方を改め、情報社会でみずから判断し行動する力を身に着けるため、自律的、創造的にICT機器を活用するための教育と捉えている。
- 問 PCR検査は検査数だけでなく結果の活用が重要である。その観点から、市内での重症患者用病床確保の現状と方針を伺う。
- 答 身近な医療機関での検査数を拡充する。市内での今後の病床確保は難しく、圏域で整備する専門病院等の充実を都に求める。

## 市民に寄り添ったワンストップサービスの実現を



ひがしまり子 議員

- 問 兵庫県芦屋市役所には、分かりやすいネーミングでワンストップサービスを実現する「お困りです課」という部署がある。本市でも同様の取り組みを求めるが、見解を伺う。
- 答 市民が利用しやすい一体的なサービスの実現に努めるとともに、ご紹介の事例についても研究したい。
- 問 コロナ禍において一度も大学に行っていない学生等がいる中、引きこもりがちな市民に対して支援すべきと考えるが見解は。
- 答 新たな課題だと認識しており、市ができることを考えたい。
- 問 コロナ禍におけるストレス等からの児童虐待を早期発見する対策として、子ども宅食の導入を求めるが、いかがか。
- 答 要保護児童対策協議会との連携や個人情報の扱いなどの課題を整理するとともに、よりよい取り組みを研究したい。

## 公益通報後の入札改革の状況は



下田ひろき 議員

- 問 公益通報後の少額工事において、①突出して多くの工事等を請け負っていた業者がおり、疑念を抱かれるような発注方法は課題があると考えますが、その後は是正されたのか②1者の見積もりのみで発注していた案件があると考えますが是正されたのか。
- 答 ①公益通報があった平成29年度は1者で78件請け負っていたことがあったが、令和2年度は8月末時点で9件と減少しており、今後も公平性や経済性の観点から適正に対応したい②随意契約ガイドラインに基づき、工事予定価格が100万円未満の工事は1者以上、100万円以上130万円以下は2者以上の見積書を取得し、適正に契約手続きを行っている。また、少額工事の契約では係長以上職員2者でのチェックを徹底し、見積もり依頼については工事の実績や特殊性等を考慮し選定を行っている。

## 知る自由を保障する図書館運営と駐車場を負の遺産にしない地域ルールを



内山さとこ 議員

- 問 図書館に関し①知るセーフティネットという基本理念に照らし感染症対策上、休館判断は妥当だったか②基本的人権の基盤を成す、知る自由の保障のため、公共の役割の議論を求めるが。
- 答 ①市民の生命・健康を守るためやむを得ない措置であり、図書館の責務を果たすため密を避ける工夫を行った②基本的人権に触れるような事柄との調和について留意し判断していきたい。
- 問 自動車保有台数が減少傾向の中、歩行者優先、歩いて楽しいまちづくりという市の方針に沿って、地域特性に応じたマンションや公共施設の駐車場附置義務の緩和が必要ではないか。
- 答 都が開始するアフターコロナの駐車場施策の在り方や使いやすい地域ルール等を検討する場に継続的に本市の課題等を伝え、都の駐車場条例改正の際には積極的に意見を述べていきたい。

## コロナ禍における高齢者対策、健康対策の早急な取り組みを



浜田けい子 議員

- 問 増加している独り暮らしの高齢者の見守り体制について伺う。
- 答 在宅介護・地域包括支援センター等や地域での見守り、認知症サポーター養成講座等の取り組みを実施している。
- 問 認知症サポーターのさらなる活躍の場について見解を伺う。
- 答 次期計画の中で本市ならではの自助・共助の取り組みを進め、ステップアップ講座受講者の活躍の場を広げたいと考える。
- 問 コロナ禍における乳幼児から大人までの健康診査への影響は。
- 答 乳幼児健診は一部個別健診へ振り替え、若年層健診は7月まで延長し、特定健診は受診票の発送を前倒しするなど対応を行った。今後も関係機関と調整し、健診機会の確保や周知を行う。
- 問 医療機関等の従事者に対するPCR検査実施について見解は。
- 答 都が高齢者施設職員等に実施予定であり、動向を注視したい。

## 「誰も置き去りにしない」支援等を



大野あつ子 議員

- 問 社会福祉法改正に伴い国が推進する「重層的支援体制整備事業」について、本市の方針および取り組み内容について伺う。
- 答 複合的な課題を抱える家族への支援を進めるため実態把握に努めており、さらなる重層的な支援体制の構築を目指したい。
- 問 不妊治療に対して本市独自の支援を求めるが、いかがか。
- 答 さまざまな立場の方に配慮することが大切であると認識しており、国や都の助成制度の状況を見ながら研究したい。
- 問 コロナ禍で不安になっている子どもたちの心のケアについて、今後どのように対応していくのか、見解を伺う。
- 答 学校生活のアンケート等により悩みを把握するとともに、市の派遣相談員等による対応や不登校が心配される子どもたちへはスクールソーシャルワーカーによる対応も行いたい。

## 男女が共に安心して暮らせるジェンダー平等社会を



西園寺みきこ 議員

- 問** 子宮頸がん予防ワクチンの有効性と効果の持続期間を伺う。
- 答** 新しいワクチンのため、がんそのものの予防効果は証明されていない。確認されている効果の持続期間は6年～9年である。
- 問** 平成25年の「積極的勧奨の中止」以降、子宮頸がん予防ワクチンの有効性・副反応への評価に変化はあったのか。
- 答** 変化はなく、国の通知ののっとり積極的勧奨は行っていない。
- 問** 職員のセクハラ防止指針は、派遣職員も対象にすべきでは。
- 答** 誰もが働きやすい職場づくりを推進するため、派遣職員もセクハラ防止指針の対象として検討することが必要と考える。
- 問** 性暴力被害防止のため、プライベートパーツを幼い頃から教えるなど発達段階に応じた性教育が必要だと考えるがいかがか。
- 答** 外部講師を活用した授業ができるよう支援していきたい。

## 第8期介護保険事業計画での、保険料負担の軽減やサービスの維持を求める



本間まさよ 議員

- 問** 来年4月からの開始に向けて策定作業が進められている第8期介護保険事業計画において、多段階化や基金の活用、一般会計からの繰り入れなどの保険料抑制策を求めるが、見解を伺う。
- 答** 低所得者への本市独自策として従来から所得段階設定の細分化を行い、現在は20段階である。法定割合以上の一般財源の繰り入れは、国民の相互扶助という制度の趣旨に反し適当でない。
- 問** 要介護1・2を介護保険給付から外し総合事業に移行する国の意向がある。次期計画では移行しないよう求めるが見解は。
- 答** 国の基本指針では要介護者も総合事業の利用が可能だとしているが、専門職の適切なアセスメントを踏まえた支援が重度化防止に必要であり、総合事業の導入は慎重であるべきと考える。このほか特別支援学級増設や熱中症対策の質問がありました。

## PCR検査体制の整備とSDGsの観点でのまちづくりを



橋本しげき 議員

- 問** PCR検査拡充には医師等の適切な判断が重要だが、1日最大500件の検査体制整備のための支援で検査数は増えるのか。
- 答** 市内各医療機関で唾液によるPCR検査を開始しており、医師が必要と認めた方は速やかに検査できる体制が整うと考える。
- 問** 本市は保健所設置自治体でなく新型コロナウイルス感染症の実態を把握しにくいのが、保健所とはどう意思疎通しているのか。
- 答** 詳細な情報提供を都に要望した結果、年代と性別、療養状況が週1回報告されている。今後さらなる情報提供を要望する。
- 問** 新型コロナウイルスの危機を乗り越えた社会ではSDGs\*の観点からのまちづくりがさらに重要になると考えるが見解は。
- 答** SDGsの17の目標は市政の基本的方向性と一致しており、持続可能なまちづくりで、安心して暮らせる土台を築きたい。  
\*2015年に国連で採択された世界共通の持続可能な開発目標

## 順法精神に疑問が残る武蔵境駅北口QuOLaは、事業の失敗を認め検証を



木崎剛 議員

- 問** 前回定例会での一般質問に対し市長は、私が当時の市長だったらこういう市有地を活用した民間活用事業はやらなかったと答弁しているが、QuOLa事業の推進は間違いだったのか。
- 答** 当時の市長だったらと前置きした、仮定の答弁である。現在は当然、事業の成功に向け推進していく立場と認識している。
- 問** 屋上テナントや建物管理会社は何度も建築違反を行ってきたと考えるが、屋上利用は是正計画書どおり行われているのか。
- 答** 市職員が現地確認とテナント等へのヒアリングを定期的に行っており、是正計画書どおり運用されていると認識している。
- 問** 現地確認日の朝には屋根も含めテントが張っており、建築違反行為と考えるが事業者から虚偽の報告を受けたのではないのか。
- 答** 屋上の使用状況は、今後建物管理者に再度確認していきたい。

## デジタル変革を行っていく際に壁となる規制の見直しについて



品川春美 議員

- 問** 総務省は、7月7日に各都道府県へ、地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについて通知をしている。東京都やさまざまな自治体で行政サービスのデジタル化、オンライン化が取り組まれているが、具体的な対応方針は。
- 答** 恒久的な制度的対応として、緊急対応を行った手続きだけでなく、原則としてすべての行政手続きにも必要な検討を行う。
- 問** 行政手続きのデジタル化を推進することは、市民と職員の接触機会が減り、安全・安心の点で重要だと考える。本市の対応方針に基づき、どのような検討を行ったか伺う。
- 答** 今後、全庁的な取り扱いの検討を進めていく予定である。押印の取り扱いについては、現時点で押印を求めている申請書等の実態調査を行いたいと考えている。

## 外出自粛下のエアコン助成、「トライアングル」プロジェクトによる支援の一元化を



蔵野恵美子 議員

- 問** エアコンは今や日用品であり、コロナ感染防止のため外出自粛を促す本市の状況も踏まえ、前橋市や荒川区のように、エアコン設置関連の助成対象に一般家庭世帯も含め、対象世帯に応じた市単独での助成内容を拡充させるべきと考えるが見解は。
- 答** エアコンという日用品の費用を幅広く市民に助成する施策は、公共性の観点からその位置づけについて議論が必要である。
- 問** 文科省が掲げる家庭・教育・福祉の連携推進「トライアングル」プロジェクトが目指す、支援全般の情報等を一元化した相談窓口の設置や、ハンドブックの作成が必要だが、見解は。
- 答** 基幹相談支援センターが、地区ごとに多職種で支援全般の相談を担っている。また、ハンドブックの役割を持つ障害者福祉のしおりを作成しており、情報量や見やすさを今後工夫したい。

## 本会議・委員会の傍聴について

武蔵野市議会では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴につきまして以下の取り扱いをしています。傍聴者の皆さまには、ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 傍聴の際は、極力マスクの着用をお願いいたします。
- 傍聴入り口にて、アルコール手指消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- 傍聴席では、それぞれなるべく離れたお席にお座りください。

また、本会議、予算特別委員会、決算特別委員会に加えて、令和2年度から各常任委員会および外環道路特別委員会のインターネット中継を実施しています。

<http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>



## 吉祥寺地区の浸水対策のため、雨水貯留槽の早期設置を求める



きくち太郎 議員

- 問** 下水道総合計画2018では五日市街道の下に雨水放流幹線を整備するとあるが、近年は大型台風等の豪雨が増えており、2037年度までの整備では遅すぎると考える。吉祥寺の杜宮本小路公園に雨水貯留槽を早期に設置するよう計画を見直すべきでは。
- 答** 雨水貯留槽の設置は局所的な浸水対策にすぎず、公園の活用も含めて善福寺川排水区全体で技術的な検証を行う必要がある。
- 問** 住宅用火災警報器の設置取り替えの推進や広報につき見解は。
- 答** 設置後10年を経過した警報器の早期取り替えを周知する。また市民防災協会とシルバー人材センターと連携し、戸建て住宅での警報器の販売取り付けあっせん事業の実施を調整している。そのほか、PCR検査、インフルエンザ予防接種に関する質問がありました。

### 陳情 審議結果

#### 意見付き採択

市立小・中学校のオンライン教育に関する陳情(※)  
 (意見)陳情の趣旨に沿って、豊かな学びを推進するために、課題解決に向けて善処されたい。

#### 不採択

武蔵野市子ども育成課における別居後離婚前における「ひとり親申請」の制度変更を求めることに関する陳情

#### 継続

別居・離婚後の親子交流を促進する運用・法整備を求める意見書提出に関する陳情(※)  
 児童の権利に関する条約を促進する研究・議論をする第三者機関の設置を求めることに関する陳情(※)  
 (※)は継続審査となっていたものです。

## 永年勤続議員表彰

5月27日開催の第96回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会より永年勤続議員として下記の議員が表彰され、その伝達式が9月2日の本会議において行われました。

●15年以上勤続 **小美濃 安弘**



## 武蔵野市議会ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>

武蔵野市議会 検索

令和元年9月から、インターネット中継をリニューアルしました。スマートフォンやタブレットでも視聴可能となりました。

### ▶インターネット議会中継

本会議・各常任委員会・外環道路特別委員会・決算特別委員会・予算特別委員会の模様を市議会ホームページで生中継しています(生中継の日程は「会議の日程」のページをご覧ください)。

録画中継は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。

### ▶会議録検索システム

平成2年8月以降の本会議、常任・特別委員会など、各種の会議録が閲覧・検索できます。

### ▶携帯電話版ホームページ

市議会からのお知らせを携帯電話でもご覧いただけます。下記のURLを直接入力するか、携帯電話で2次元バーコードを読み取ってください。



<http://www.city.musashino.lg.jp/m/shigikai/>

その他、市議会に関するさまざまな情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

## 会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ ☎60-1884	
道場 ひでのり	堀内 まさし
ひがし まり子	木崎 剛
きくち 太郎	土屋 美恵子
与座 武	小美濃 安弘

自治と共生 ☎60-1890	
内山 さとこ	山本 あつし

ワクワクはたらく ☎60-1885	
宮代 一利	本多 夏帆

立憲民主ネット ☎60-1889	
藪原 太郎	蔵野 恵美子
西園寺 みきこ	川名 ゆうじ
深沢 達也	

改革武蔵野・都民ファースト ☎60-1944	
深田 貴美子	品川 春美

市議会公明党 ☎60-1887	
大野 あつ子	浜田 けい子
落合 勝利	

日本共産党武蔵野市議団 ☎60-1888	
橋本 しげき	本間 まさよ

会派に属さない議員 ☎60-1909	
山本 ひとみ	下田 ひろき

## 議案等審議結果(議決)一覧

### 第3回臨時会

#### 【市長提出議案(2件)】

- 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度武蔵野市一般会計補正予算(第5回)) ... 承認(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回) ... 可決(全会一致)

### 第3回定例会

#### 【市長提出議案(11件)】

- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例 ... 可決(全会一致)  
※建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正により、省エネ性能向上計画認定の対象に複数建築物が追加されたことに伴う改正および省エネ性能評価方法が簡素化されたことに伴う改正をするもの。
- 武蔵野市一般廃棄物処理施設設置条例 ... 可決(全会一致)  
※一般廃棄物処理施設(附帯施設を含む)である武蔵野クリーンセンターおよびむさしのエコリゾートの名称および位置ならびに事業等を定めるもの。
- 物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について ... 可決(全会一致)  
※武蔵野市が管理する樹木の枝の落下により発生した物損事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするもの。
- 武蔵野市新学校給食桜堤調理場(仮称)配送用コンテナ等の買入れについて ... 可決(全会一致)  
※配送用コンテナ112台、ラックインカート8台およびカート41台の買入れをするもの。
- 令和2年度武蔵野市一般会計補正予算(第7回) ... 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) ... 可決(全会一致)
- 令和2年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回) ... 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市決算の認定について ... 認定(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について ... 可決および認定(全会一致)
- 武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について ... 同意(全会一致)  
※本市教育委員会委員に大崎和氏を任命することについて、市議会の同意を求めるもの。
- 学習者用コンピュータ等の買入れについて ... 可決(全会一致)  
※市立小・中学校の学習者用および教員用コンピュータ8,740台および周辺機器等の買入れをするもの。

#### 【諮問(3件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ... 異議なし(全会一致)  
※人権擁護委員に吉安晶子氏を再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ... 異議なし(全会一致)  
※人権擁護委員に西上原節子氏を再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ... 異議なし(全会一致)  
※人権擁護委員に伊藤恵子氏を再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。

#### 【議員提出議案(1件)】

- 武蔵野市議会会議規則の一部を改正する規則 ... 可決(全会一致)  
※武蔵野市議会基本条例の制定に伴い、全員協議会について規定するもの。

#### 【動議(1件)】

- 議案第85号学習者用コンピュータ等の買入れについてに関する付帯決議に関する動議 ... 可決(賛成多数)

議案等に対する各議員の賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

## 決議

議案第八十五号学習者用コンピュータ等の買入れについてに関する付帯決議

本事業を進めるに当たり、立案から決定、議案提出に至るまでのプロセスの透明化、議会への適時の適切な説明並びに議会の意見を取り入れることを求める。

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。

議会事務局

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555  
 メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp  
 市議会ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>